

設備基準

太陽光発電システム基準	○JPEA申請代行センター（JP-AC） ・太陽光パネル型式に登録された設備
家庭用蓄電池基準	■系統連携型 以下のいずれかに該当する設備 ○一般社団法人環境共創イニシアチブ（SII） ・ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）支援事業の補助対象として登録された設備 ○一般財団法人電気安全環境研究所（JET） ・小型分散型発電システム用系統連携保護装置認定証相当の認証を受けた設備
	■非系統連携型 ○一般財団法人電気安全環境研究所（JET）、一般財団法人日本品質保証機構（JQA）、 （株）UL Japan、テュフ・ラインランド・ジャパン（株） ・Sマーク認証を取得した設備
太陽熱利用給湯システム基準	○一般財団法人ベターリビング ・優良住宅部品（BL部品）認定を受けた設備
ペレットストーブ基準	暖房出力（kW）の根拠となる試験結果を有しており、燃焼温度、排気温度、一酸化炭素濃度の測定、異常時の警報等の機能及び自動消火の安全設備を有すること
家庭用燃料（エネファーム）基準	○一般社団法人燃料電池普及促進協会（FCA） ・家庭用燃料電池システム導入支援事業補助金の補助対象として機器指定された設備
断熱材・断熱サッシ基準	○一般社団法人環境共創イニシアチブ（SII） ・高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業の補助対象として登録された設備
高効率給湯設備基準	■電気ヒートポンプ給湯機 ・貯湯缶が一缶のものに係るJIS基準（JIS C 9220）貯湯機に基づく年間給湯保温効率・年間効率が3.3以上、貯湯缶が多缶の場合は3.0以上である設備
	■潜熱回収型ガス給湯機 ・エネルギー消費効率が94%以上（暖房機能を併用する場合の暖房給湯兼用器にあっては93%以上）となる設備
	■潜熱回収型石油給湯機 ・エネルギー消費効率が94%以上（暖房機能を併用する場合の暖房給湯兼用器にあっては93%以上）となる設備
	■ヒートポンプ・ガス瞬間併用型給湯機 ・熱源設備は電気式ヒートポンプとガス補助熱源機を併用するシステムで貯湯タンクを持ち、年間給湯効率（JGKSA705-2016）が102%以上である設備
温水式床暖房基準	以下の①～③のいずれかを満たす設備 ①熱源設備が石油温水式又はガス温水式であって潜熱回収型（暖房部熱効率87%以上）のもの ②熱源設備が電気ヒートポンプ式熱源機であって暖房時COP3.3以上のもの ③山口県産省・創・蓄エネ関連設備基準の「高効率給湯設備」を満たす給湯設備に接続して空調するもの
ヒートポンプ式セントラル空調システム基準	暖房時COP3.7以上、冷房時COP3.3以上のもの
CO ₂ 削減基準	住宅の新築・改築時等における対象設備の導入により、設備を導入しない場合に比べて、CO ₂ 削減量が年間0.3t-CO ₂ 以上、又はCO ₂ 削減率が10%以上となる設備